



『働き手の国・集団・社会を支える持続可能な社会』

微生物の個・集団・ 共生が支える 持続可能な社会

【日時】

2020年2月10日(月)13:00-17:00

【場所】

つくば国際会議場中ホール(200)

〒305-0032

茨城県つくば市竹園2丁目20番3号

【概要】

つくば地域の微生物関連の3大型研究拠点を、筑波大学微生物サステナビリティ研究センターの下に集結させ、微生物の個、集団、共生の先端研究の切り口から、SDGsに向けた環境、食、健康分野の諸課題を解決するための微生物研究と産業創出のあるべき姿を議論する。

【問い合わせ先】

微生物サステナビリティ研究センター事務局 小川
admin.mics@un.tsukuba.ac.jp
029-853-4924

主催：筑波大学微生物サステナビリティ研究センター (MiCS)

共催：ERATO 野村集団微生物制御 PJ、ERATO 深津共生進化 PJ、新学術領域・ポストコッホ生態研究拠点
後援：つくばイノベーションアリーナ (TIA)

12:30 受付開始

13:00 開会

挨拶 永田 恭介 (筑波大学学長)

来賓挨拶 飯塚 一政 (茨城県産業戦略部 技術振興局長)

【基調講演】

13:30

「健康ビッグデータをベースとした『寿命革命』エコシステム構築戦略—産学官民一体型持続的健康オープンイノベーションPF構築をめざして—」

村下 公一：弘前大学 COI 研究推進機構 (健康未来イノベーションセンター) / COI 副拠点長・教授

【基調講演】

14:10

「もう一つの臓器、腸内細菌叢の機能に迫る」

福田 真嗣：慶應義塾大学先端生命科学研究所・特任教授 / 筑波大学医学医療系客員教授 / JST ERATO 深津共生進化機構プロジェクト副研究総括 / 神奈川県立産業技術総合研究所・グループリーダー / (株)メタジェン 代表取締役社長 CEO

14:40 休憩

15:00

「共生進化の究極の理解をめざして」

深津 武馬：産業技術総合研究所生物プロセス研究部門・首席研究員 / 筑波大学生命環境系・教授 / 東京大学大学院理学系研究科・教授 / JST ERATO 深津共生進化機構プロジェクト研究総括

15:30

「集団微生物学と革新的微生物制御 -サイエンスとテクノロジーの双輪-」

野村 暢彦：筑波大学生命環境系・教授 / JST ERATO 野村集団微生物制御プロジェクト研究総括

16:00

「ポストコッホ微生物～個の微生物の可能性」

高谷 直樹：筑波大学生命環境系・教授 / 微生物サステナビリティ研究センター (MiCS) センター長 / 科研費新学術領域「ポストコッホ生態」領域代表

【総合討論・パネルディスカッション】

16:30

【ファシリテーター】

野村 暢彦：筑波大学 JST ERATO 野村集団微生物制御プロジェクト研究総括
【パネリスト】

村下 公一：弘前大学 COI 研究推進機構 (健康未来イノベーションセンター) / COI 副拠点長・教授

桂木 能久：花王株式会社 ヘルス&ウェルネス研究所所長

金保 安則：筑波大学 産学連携担当副学長

福田 真嗣：慶應義塾大学先端生命科学研究所・特任教授 / 筑波大学医学医療系客員教授 / JST ERATO 深津共生進化機構プロジェクト副研究総括 / 神奈川県立産業技術総合研究所・グループリーダー / (株)メタジェン 代表取締役社長 CEO

高谷 直樹：筑波大学生命環境系・教授 / 微生物サステナビリティ研究センター (MiCS) センター長 / 科研費新学術領域「ポストコッホ生態」領域代表

16:50 閉会の挨拶

17:00 閉会